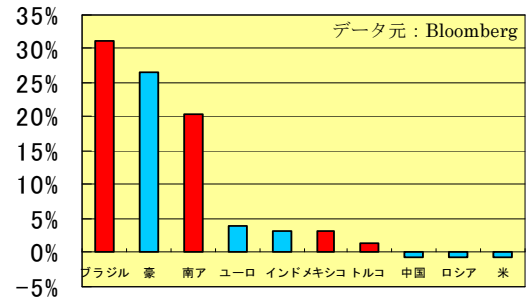




先月までのエマージング通貨の
年初来対円騰落率



直近の動向

10月中旬にかけて世界的な景気底打ちの兆しから、世界的に株高となった。利上げを行う国もあり、リスク選好気分の高まりから、新興国や資源国などの高金利通貨へ資金が流入、新興国通貨は上昇基調にあった。しかし、ブラジルの金融取引税導入に端を発した新興国リスク回避の動きが強まり、通貨、株式市場など下落した。ブラジルリアルが10月ピークから月末にかけて約4%、南アランドは約7.5%の調整となった。

ブラジル

21日に政策金利を8.75%に据え置き。2016年の五輪開催をテーマとした成長率の期待から、海外からの資金流入が加速、株、通貨、債券のトリプル高となった。市場の加熱を防ぐため、政府が非居住者に対する金融取引税を2%とすると、株式市場、通貨共に下落した。更なる引き締め策への警戒から海外勢の資金引き揚げの動きが見られ、上昇はひとまず一服か。

南アフリカ

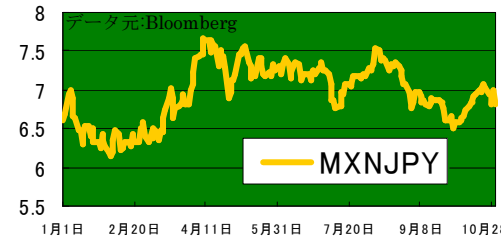
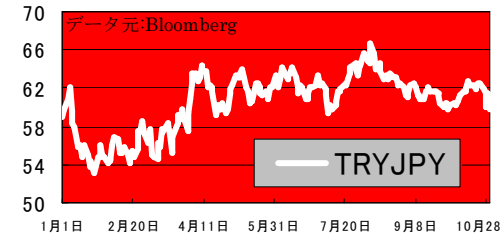
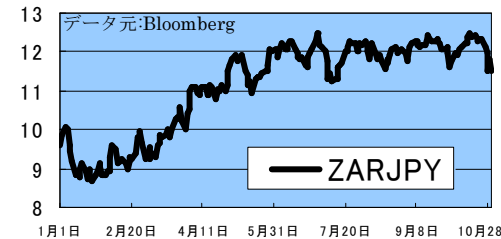
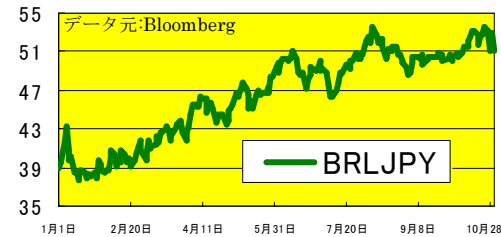
22日に政策金利を7.0%に据え置き。良好な米指標やNYダウの上昇から、高金利通貨が選好され、金価格の最高値更新も手伝い、通貨ランドは堅調な動きを見せた。固定為替相場転換の噂により一時急落するも、政府、中銀が共に否定し、相場は落ち着きを取り戻した。しかし、ブラジル発の新興国に対するリスク回避の動きから大きく値を落とした。

トルコ

15日に政策金利を6.75%に引き下げた。イラクとの間での合意文書に署名、注目を集めているナブッコパイプラインの実現の動きが大きく進展したことを受け、トルコリラは上昇。しかし、トルコの憲法裁判所が外国人投資家の債券・株式への10%の課税を支持する判決を下し、株式市場が下落。それと共にトルコリラも値を下げた。今後は、政府がいつ課税を決定するのかに注意が必要か。

メキシコ

16日に政策金利を4.5%に据え置き。メキシコは財政赤字の縮小ができなければ格下げされる可能性があるが、景気の底打ちと見られる経済指標も出てきている。9月の6.41%と悪化した失業率が景気回復の障害となる懸念も。また、貿易の大半を占める相手国である米経済が不調なため、貿易収支はマイナス幅を広げているが、現在は経済指標より、予算案の行方が相場を左右している。



為替レート見通し

対円 (JPY)	09/11	10/02	10/05	10/11
米ドル (USD)	90	93	96	97
ブラジルリアル (BRL)	51	53	55	61
南ア・ランド (ZAR)	11.3	12.1	12.5	13.0
トルコリラ (TRY)	59	63	64	66
メキシコペソ (MXN)	6.77	7.04	7.11	7.18



この資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的とした2009年11月2日現在の当社の意見になります。また、当社が信頼できると考える情報源から得たデータに基づき作成しておりますが、その情報の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。

店舗案内

本社 :
 東京都中央区新川
 一丁目21番2号
 茅場町タワー
 TEL: 03-5541-7887

京都支店 :
 京都市中京区烏丸通
 錦小路上手洗水町
 659番地 烏丸中央ビル
 TEL: 075-222-1001

大阪支店 :
 大阪市中央区南船場
 一丁目18番17号
 商工中金船場ビル
 TEL: 06-4705-6701

名古屋支店 :
 名古屋市中村区名駅
 三丁目22番8号
 大東海ビル
 TEL: 052-564-0051

札幌支店 :
 札幌市中央区
 北一条西二丁目1番地
 札幌時計台ビル
 TEL: 011-221-1375

越谷支店 :
 埼玉県越谷市赤山本町
 2番14号
 越谷駅西口TRビル
 TEL: 048-967-6011

宝塚支店 :
 兵庫県宝塚市逆瀬川
 一丁目11番1号
 アピア2
 TEL: 0797-77-7751